

Ⅱ 個別事業

第1 法人運営

1 組織運営

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	評議員会		市		

結果の概要

- 法人の予算、決算、事業計画、事業報告及び業務又は財産の状況等に関する議決を行うために評議員会を年3回開催した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、第1回は評議員全員から書面により同意の意思表示を得たうえで決議の省略とした。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	決議の省略	議案第1号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会理事の選任 議案第2号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号) 議案第3号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業 報告 議案第4号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算
第2回	12月23日 (水) 201~203 会議室	議案第5号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)
第3回	3月24日 (水) 201~203 会議室	議案第6号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期理事の選任 議案第7号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号) 議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正 議案第9号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画 議案第10号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	評議員選任・解任委員会		市		

結果の概要

- 理事会から推薦された評議員候補者について、選任の決議を行った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月16日(火) 応接室	○第24期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
第2回	9月17日(木) 視聴覚室	○第24期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	理事会		市		

結果の概要

- 法人内の業務の決定、予算、決算、事業計画、事業報告等の議決を行うために、理事会を年4回開催した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、第1回は理事全員から書面により同意の意思表示を得たうえで決議の省略とした。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	決議の省略	議案第1号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員候補者の推薦 議案第2号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号) 議案第3号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第4号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算 議案第5号 令和2年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任会委員の選任 議案第6号 令和2年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第7号 令和2年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会(定時評議員会)の招集
第2回	9月17日(木) 視聴覚室	議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第24期評議員候補者の推薦 議案第9号 令和2年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第10号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会公印規程の一部改正 議案第11号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会放課後等サービス管理運営規程の一部改正

第3回	12月10日 (木) 202・ 203会議室	議案第12号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第2号) 議案第13号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の 一部改正 議案第14号 令和2年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員会の招集
第4回	3月11日 (木) 202・ 203会議室	議案第15号 令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第3号) 議案第16号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び 費用弁償に関する規則の一部改正 議案第17号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則 の一部改正 議案第18号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会障害者訪問系サー ビス事業登録居宅介護員職務規程の一部改正 議案第19号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会 事業計画 議案第20号 令和3年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会 資金収支予算 議案第21号 令和2年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員会の招集 議案第22号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の選任及び 解任

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	三役会		市		

結果の概要

○理事会、評議員会開催へ向けての調整など、法人内の業務や、人事の調整等を行うために三役会を年4回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月4日(金) 応接室	○第1回理事会への提出案件等
第2回	9月3日(木) 応接室	○第2回理事会への提出案件等
第3回	12月2日(水) 応接室	○第3回理事会への提出案件等
第4回	3月3日(水) 応接室	○第4回理事会への提出案件等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	監査会		市		

結果の概要

○理事の業務執行の状況、事業の執行状況及び財産の状況を監査するため、令和元年度決算監査と令和2年度四半期監査を開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月11日(木) ボランティア活動室	○前回(令和元年度上半期)監査講評における留意事項について(報告) ○令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算(事業・経理)説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第2回	9月9日(水) 202会議室	○前回(令和元年度決算)監査講評における留意事項について(報告) ○令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会第1四半期監査(経理)説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第3回	11月19日(水) 201・202会議室	○前回(令和2年度第1四半期監査)監査講評における留意事項について(報告) ○令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会上半期(第2四半期)監査(事業・経理)説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第4回	2月4日(木) ボランティア活動室	○前回(令和2年度上半期監査)監査講評における留意事項について(報告) ○令和2年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会第3四半期監査(経理)説明 ○監査実施 ○監事からの講評

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	第三者委員会議	基			

結果の概要

○第三者委員会議では、苦情・要望の受付及び対応について報告し、解決の過程及び改善策について第三者委員よりアドバイスをいただいた。また、事故について報告した。

実績等

<第三者委員会議>

回	開催日・会場	内 容
第1回	9月25日(金) 視聴覚室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和元年3月～令和2年8月分 出席委員2人
第2回	3月18日(木) 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和2年9月～令和3年2月分 出席委員3人

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(7)	表彰審査委員会				

結果の概要

○永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民や団体並びに福祉事業に対する高額寄付者などを対象に、表彰基準に照らし合わせ顕彰者を決定した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	8月4日(火) 団体室	○表彰状対象者(団体)の審査・選出 ○感謝状対象者(団体)の審査・選出 ○市民表彰対象者の審査

分析・課題

○市民表彰による推薦は1件であった。地域で活動されている方を推薦していただけるよう、市報・ふくしの窓・ホームページ等を活用し広く広報を行う。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	社協経営会議		市		

結果の概要

○会長、常務理事、管理職を構成メンバーとし、社協が抱える問題や緊急課題に対応するため毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月6日(月) 応接室	○新型コロナウイルスへの対応について ○人事考課について ○福祉健康部部长ブリーフィングについて
第2回	5月11日(月) 応接室	○新型コロナウイルスの経過と対応について ○決算関係の日程確認 ○第1回理事会・定時評議員会案件等

第3回	6月1日(月) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○社協全体事業の今年度の実施について ○第1回理事会・定時評議員会案件等 ○新型コロナウイルスの経過と対応について ○虐待防止委員会
第4回	7月6日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○新型コロナウイルスへの対応について ○ご寄付について
第5回	8月3日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○新型コロナウイルス緊急包括支援事業について ○人事考課について ○総合福祉センターの更新について
第6回	9月7日(月) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○人事考課について ○市民ゴルフについて ○第32回調布市福祉大会について ○虐待防止委員会
第7回	10月5日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○令和2年度上半期監査について
第8回	11月2日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○事務局長会報告 ○令和2年度上半期監査について
第9回	12月7日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○令和3年度正規職員採用について ○12月期末・勤勉手当の支給について ○総合福祉センター移転について ○令和3年度嘱託職員の再雇用に係る面接について ○令和3年度職員の希望降任制度に基づく降任希望の聴取について ○虐待防止委員会
第10回	1月4日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○新型コロナウイルスへの対応について ○令和3年度正規職員の採用について ○令和3年度職員の希望降任制度に基づく降任希望聴取の結果について ○令和2年度後期自己申告書提出及び面接の実施について ○ICT活用プロジェクトの実施について ○特例貸付等対応職員への特別手当について
第11回	2月1日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和3年度自主財源予算及び事業計画の作成について ○令和3年度調布市への予算要求状況 ○昇任試験の実施について

第12回	3月1日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月三役会について ○3月の理事会・評議員会案件等 ○総合福祉センター移転について ○令和3年度職員採用の結果について ○新型コロナウイルスへの対応について ○虐待防止委員会
------	----------------	---

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	社協管理職会議				

結果の概要

○管理職を構成メンバーとし、社協の課題を共有し課を超えて連携をはかるために毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月28日(火) 203会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回理事会・定時評議員会案件等及び決議の省略について ○新型コロナウイルスの対応について ○職員の希望降任制度について ○人事考課制度について ○各課の主な事業
第2回	5月26日(火) 202会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回理事会・定時評議員会案件等 ○新型コロナウイルスの対応について ○職員の希望降任制度について ○人事考課制度について ○各課の主な事業
第3回	6月23日(火) 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○令和2年度自己申告について ○働き方改革について ○各課の主な事業
第4回	7月28日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○人事考課について ○総合福祉センターの更新について ○新型コロナウイルスの状況について ○各課の主な事業
第5回	8月25日(火) 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○人事考課について ○時間外勤務の管理状況について ○希望降格制度の運用について ○各課の主な事業

第6回	9月29日(火) 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○運営会議の方向性について ○上半期事業実施概要の報告について ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○各課の主な事業
第7回	10月27日(火) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○プロジェクト立ち上げについて ○令和3年度予算要求について ○体温測定・マスク検知システムの寄付について ○各課の主な事業
第8回	11月24日(火) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○プロジェクト立ち上げについて ○12月期末・勤勉手当の支給について ○調布社協法人化50周年について ○総合福祉センター移転について ○令和3年度嘱託職員の再雇用に係る面接について ○令和3年度職員の希望降任制度に基づく降任希望の聴取について ○各課の主な事業
第9回	12月22日(火) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○1月の運営会議について(人事考課についてエイデル研究所より説明) ○特例貸付等対応職員への特別手当について ○職員の自己申告(最終申告)の実施について ○各課の主な事業
第10回	1月26日(火) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○緊急包括事業慰労金について ○令和3年度自主財源予算及び事業計画の作成について ○昇任試験の実施について ○各課の主な事業
第11回	2月22日(月) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○3月三役会について ○令和3年度自主財源予算及び事業計画の作成について ○総合福祉センター移転について ○各種プロジェクトの状況について ○各課の主な事業
第12回	3月23日(火) 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○6月の理事会・定時評議員会案件等 ○令和3年度当初スケジュール ○各種プロジェクトの状況について

		○社協全体で取り組む事業の担当について(小地域、福祉まつり、活動計画) ○4月1日辞令交付式について ○各課の主な事業
--	--	---

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	社協運営会議				

結果の概要

- 組織運営、事業運営等をスムーズに運ぶために、管理職及び係長職(相当職を含む)を構成メンバーとし、法人全体として経営会議、管理職会議の報告と各係からの報告と提案を行なうために、毎月1回開催した。
- 危機管理委員会としても位置付け、苦情、要望、事故、ヒヤリ・ハット事例の共有を図った。
- 法人課題のプロジェクト化に向けて、第6回から第9回までグループワークを行った。
その結果、職員による「ICT活用プロジェクト」が立ち上がり、ICT・業務効率化・利用者支援の3つのグループでの検討が始まった。
- 外部コンサルタントを講師として、人事考課制度構築に向けての説明会を実施した。
- 第11回からはZoom参加も可能となった。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月7日(火) 201・202会議室	○新型コロナウイルス対策について ○新型コロナウイルス用備蓄品の把握と管理について ○人事考課制度の進捗について ○決算監査に向けたスケジュール確認について ○危機管理委員会
第2回	5月12日(火) 202会議室	○新型コロナウイルス対策について ○危機管理委員会
第3回	6月3日(水) 201会議室	○新型コロナウイルス対策について ○危機管理委員会
第4回	7月7日(火) 202会議室	○新型コロナウイルス対策について ○YouTubeの法人アカウント取得について ○公印の電子化について ○決算監査における指摘事項について ○会員募集/会費の「シンカブル」導入について ○危機管理委員会
第5回	8月4日(火) 視聴覚室	○職員のメンタルヘルスについて ○総合福祉センターの移転について ○運営会議のあり方について ○危機管理委員会

第6回	9月8日(火) 201・202会議室	○「働き方改革」に伴う法人課題のプロジェクト化に向けてのグループワーク ○危機管理委員会
第7回	10月7日(火) 視聴覚室	○「働き方改革」に伴う法人課題のプロジェクト化に向けてのグループワーク ○危機管理委員会
第8回	11月4日(水) 視聴覚室	○法人課題のプロジェクト「IT化」に決定 ○運営会議で検討する法人課題についてグループワーク ○危機管理委員会
第9回	12月8日(火) 201・202会議室	○福祉作業所応援セット販売について ○事務取扱の見直しと業務効率化についてのグループワーク ○危機管理委員会
第10回	1月5日(火) 201・202会議室	○人事考課について 調布社協における人事考課制度構築に向けての説明 (講師:エイデル研究所田中氏) ○危機管理委員会
第11回	2月2日(火) 視聴覚室・Zoom	○業務効率化の進捗状況について ○ICT活用プロジェクトの進捗状況について ○社協会員募集の愛称について ○コロナ禍での状況について ○危機管理委員会
第12回	3月2日(火) 視聴覚室・Zoom	○ICT活用プロジェクトの進捗状況について ○業務効率化プロジェクトの進捗状況について ○利用者支援プロジェクトの進捗状況について ○人事考課プロジェクトの進捗状況について ○テレワークの現状と今後の方向性について ○危機管理委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	課内・係内会議				

結果の概要

○各課・各係において会議を開催した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	危機管理委員会				

結果の概要

○運営会議において、危機管理委員会を設置し、苦情、要望、事故報告、ヒヤリ・ハット報告により共

有を図り、事故の未然防止とサービスの安全と質の向上を図った（第1部のP12参照）。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	衛生委員会		市		

結果の概要

- 衛生管理者、職員の代表者及び産業医が参画した衛生委員会を定期的を開催し、調布社協内各職場における安全・衛生について、協議、検討を行った
- 法人全体のストレスチェック結果について、委員会で共有した。結果の活用方法については、今後もさらに検討を重ねることを確認した。
- 職場巡視を実施することで、各拠点の環境状況の把握、整備が進んだ。
- 産業医から最新の新型コロナウイルスの情報提供を得て、法人内の感染症予防対策へ生かした。感染症予防のため衛生委員会もオンライン会議形式で開催した。
- 新型コロナウイルス対応として、職員の時差出勤やテレワーク、休校に伴う休暇や年次有給休暇の活用、出勤前の検温、マスクの着用を実施した。施設としては、自動検温器、アクリル板、消毒用スプレーの設置や定期的換気を実施した。

実績等報告

○衛生委員会

回	開催日	会場	内 容
第1回	6月22日(月)	総合福祉センター 4階 生活支援室	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度衛生委員自己紹介 ○衛生委員会の位置づけの確認 ○令和2年度活動計画について ○取り組むべき課題について ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供
第2回	8月24日(月)	総合福祉センター 2階 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の課題確認 ○第1回職場巡視について ○保健師による研修について ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供 ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談について ○ストレスチェックの実施について
職場巡視	9月29日(火)	第1コース 富士見コーナー、調布市希望の家、調布市希望の家分場、希望の家深大寺、 第2コース 緑ヶ丘コーナー、菊野台コ	<ul style="list-style-type: none"> ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、コロナ対策確認等

		一ナー、市民活動支援センター、西部コーナー、こころの健康支援センター	
第3回	10月26日(月)	総合福祉センター 2階 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の課題確認 ○第1回職場巡視報告 ○保健師による研修、情報交換会の内容について ○産業医からの情報提供 ○職員健診の実施について ○保健師による健康相談について ○ストレスチェックの実施について
第4回	12月21日(月)	総合福祉センター 2階 201会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の課題確認 ○産業医からの情報提供 ○新型コロナウイルスの対応について ○職員健診の実施について ○普通救命講習研修について ○保健師による健康相談について ○ストレスチェックの実施について
第5回	2月15日(月)	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の課題確認 ○産業医からの情報提供 ○第2回職場巡視について ○新型コロナウイルスの対応について ○ストレスチェックの法人全体結果の情報共有
職場巡視	3月18日(木)	<p>第1コース 西部コーナー、染地コーナー、こころの健康支援センター</p> <p>第2コース 富士見コーナー、調布市希望の家、調布市希望の家分場、希望の家深大寺、</p> <p>第3コース 緑ヶ丘コーナー、菊野台コーナー、市民活動支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、コロナ対策確認等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(14)	ストレスチェックの実施		市		

結果の概要

- 平成27年12月からストレスチェック制度が施行されたことに伴い、ストレスについての気づきの促し及び職場環境の改善のために、令和2年12月にストレスチェックを実施した。
- 令和2年4月1日在籍者で週24時間以上勤務する職員143人に対し、職業性ストレス簡易調査票を配付した。
- 結果の分析、集計及び報告については、ストレスチェック業務を取り扱う専門業者に外部委託した。
- 個人結果について回答者個別に報告書を配付するとともに、法人全体及び部署別（課ごと）の集団分析を行った。
- ストレスチェックの結果について、衛生委員会で法人全体結果を共有するとともに、「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出した。

実績等

- 対象者数143人に対し調査票を配付した結果、124人から回答があった。
- 高ストレス判定が出た職員に対して実施事務従事者から産業医または保健師による面接指導を案内したが、職員からの申し出はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(15)	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会				

結果の概要

- 今年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(16)	個人情報保護・情報公開審査会				

結果の概要

- 今年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(17)	税理士による経理の月例チェック		市		

結果の概要

- 月1回実施した。
- 税理士の指摘事項については、会計職員で共有し改善に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(18)	社会保険労務士の指導		市		

結果の概要

- 必要に応じて、指導を受けた。
- 給与明細書のWEB化についての、助言を受けた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(19)	人事考課（重点項目）	基			

結果の概要

- 自己申告制度（「目標成果シート」「異動希望調査シート」「年に2回の面談」）を実施し、計画的な業務の遂行や明確な目的意識を持った職員を育成するとともに、適材適所の配置に役立てた。
- 人材育成を重点に置いた人事考課制度の構築を目指して、外部コンサルタントを入れた係長職以上の職員によるプロジェクト会議を計7回実施した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(20)	職員の資質向上（職員研修）（重点項目）	基	市	市東社	○

※財源は実施事業により異なる

結果の概要

＜新任研修＞

- 社会福祉協議会職員としての基礎知識及び基本姿勢の習得を目的に、経験職を講師として、社会福祉協議会の理念や事業内容、職員の倫理、マナー等を行い、組織概要の理解と働くうえでの心がまえや地域資源の理解をすすめた。
- 新任係長研修を行い、係長職としての必要な業務についての理解を深めた。

＜全体研修＞

- 昨年度より職員から要望のあった、子育て職員の育児と仕事の両立を充実したものをすることを目的として、働き方の工夫や知恵を共有する情報交換会を今年度も行った。

＜外部研修への参加＞

- ポスト、勤務年数に応じた役割自覚と職務能力向上を目的に、全社協、東社協が行う階層別研修等に参加した。
- 担当事業の専門性を高めるため必要に応じて外部研修に年間を通じて参加した。

実績等

＜新任研修＞

対象	月日	内容	参加人数
4月採用 正規職員	4月1日(水) 4月2日(木) 4月3日(金)	労務、服務、勤怠、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、 働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要、 施設見学	正規3人
4月採用 嘱託・臨時 職員	4月1日(水)他	労務、服務、勤怠、PCの使用、 管理職による事業概要説明	嘱託4人 臨時1人
新任係長	4月5日(月)	係長の役割、労務管理、勤怠管理、予算管理、ハラスメン ト、職員の育成について	3人
7月採用 正規職員	7月1日(水) 7月2日(木) 7月3日(金)	労務、服務、勤怠、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、 働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要、 施設見学	2人
10月採用 正規職員	10月1日(木) 10月15日(木)	労務、服務、勤怠、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、 働く姿勢、予算・会計、文書事務、	1人
中途採用 嘱託職員	10月1日(木) 他	労務、服務、勤怠、PCの使用、管理職による事業概要説明	4人

＜全体研修＞

研修名	月日	講師	内容	参加人数
食と健康	12月22日(火) 2コース	伊藤恵保健師	食事を通して健康を考える	31人
子育て職員情 報交換会	12月22日(火)	なし	小学生以下の育児をしてい る女子職員の仕事との両立 についての情報交換	7人
普通救命講習 (AED従事者)	2月1日(月) 3月3日(水) 3月4日(木)	(公財)東京防災救急協会 調布消防署	普通救命(AED従事者) 講習 4時間	48人

＜外部研修への参加＞

研修名	月日	主催	参加者
新人事務局長研修	6月中旬～7月下旬	東京都社会福祉協議会	管理職1人
会計実務講座(上級コース) 通信課程	8月1日(日)～ 1月31日(火)	全国社会福祉協議会	係長1人
地域福祉コーディネーター養成研 修<基礎編>	8月5日(水)～ 8月21日(金)	東京都社会福祉協議会	主任3人 主事3人
福祉職員初任者研修	8月6日(木)	調布市福祉人材育成センター	主事2人
区市町村社協職員 新任職員研 修	8月7日(金)～ 9月末	東京都社会福祉協議会	主事6人

成年後見制度利用促進体制整備 研修<基礎研修><応用研修>	8月下旬～ 12月18日(金)	全国社会福祉協議会	係長1人 主任1人 主事1人 嘱託3人
地域福祉コーディネーター養成 研修<実践編>	8月17日(月)～ 12月4日(金)	東京都社会福祉協議会	主任3人 主事1人
地域福祉コーディネーターリー ダー研修会	9月16日(木)～ 9月17日(木)	全国社会福祉協議会	主任1人
都内区市町村社協基礎研修	10月6日(火) 11月13日(金) 12月9日(水)	東京都社会福祉協議会	主任2人 主事6人
区市町村社協 会長・役員・事務 局長研究協議会	10月15日(木)	東京都社会福祉協議会	管理職1人
東京都相談支援従事者初任者研 修	10月9日(金)～ 2月12日(金)	東京都	主任2人 主事1人
東京都災害福祉広域支援ネット ワークセミナー「災害時の福祉専 門職等の連携による要配慮者支 援を考える」	10月21日(水)	東京都社会福祉協議会	管理職1人
「コロナ禍の福祉避難所につい て考える」研修	12月14日(月)	東京都地域公益活動推進協議 会	管理職1人 係長2人
会計実務講座(中級コース) 通信課程	12月15日(火)～ 1月12日(火)	全国社会福祉協議会	主任1人
採用・人事担当セミナー	12月21日(月)～ 2月10日(水)	東京都福祉人材センター	係長2人
施設長のための社会福祉法人会 計入門研修	1月25日(月)～ 3月5日(金)	東京都福祉人材センター	係長2人
福祉職場に求められるリーダー シップのあり方研修	2月1日(月)～ 3月12日(金)	東京都福祉人材センター	主任12人
区市町村社協 運営管理研修「同 一労働・同一賃金のあり方につ いて」	2月3日(水)	東京都社会福祉協議会	管理職1人 係長1人
「福祉施設における防災への準 備、心構え等について」研修	2月9日(火)	東京都社会福祉協議会	管理職1人
管理職のためのメンタルヘルス 講習会	2月15日(月)～ 3月15日(月)	東京都福祉人材センター	管理職1人
管理職員研修 ⇒新型コロナ感染症対策として 中止	2月17日(水) 2月18日(木)	東京都福祉人材センター	管理職1人
その他担当事業別研修参加	随時	全社協、東社協ほか 民間も含め各所	

分析・課題

- 新任職員研修は、各施設の見学会を定例化し、各事業へ理解を深めた。
- 子育て中の職員が参加しやすい環境整備の一環として、食と健康の研修を2部構成で開催した。
- 昨年度に引き続き、子育て中の女子職員対象に、情報交換会を実施した。限られた勤務時間での工夫など有意義な話し合いが出来た。
- 希望の家主催の虐待防止研修を法人全体研修に位置づけて実施する予定だったが、感染症拡大防止のため中止した。
- 今年度も福祉人材育成センターと連携し、研修に参加することで職員の意識だけでなく業務の質を高めた。
- 外部研修については新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインでの参加が中心となった。研修先への移動時間が無くなり、さらにテレワークでの受講も実施が可能となったため、効率的な受講につながった。内部研修についてはオンラインでの整備が進められず、スーパーバイザーを交えた研修や採用後1・2年目の職員を対象としたフォローアップ研修の実施は来年度への課題としたい。
- より良いサービス、支援の提供ができるように職員個々の資質の向上、組織力の強化及び必要な資格の取得ができるように、日常業務との兼ね合いを図りながら、今後も限られた研修費のなかで、効率的な研修の実施及び参加を進めたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(21)	職員健康相談		市		

結果の概要

- 定期的、継続的な相談や体操により職員の心身の健康状態の変化に気づく機会となった。

分析・課題

- メンタル疾患者の増加、ストレスチェックの義務化に伴い、社協組織においてメンタルヘルス対策は大きな課題となっている。そのため、産業医や健康相談員の存在も大きく、職員が安心して相談できる体制を維持・強化する必要がある。

2 部会・委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	総務部会	基			

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により下半期からの開催となり、当初計画（4回）より少ない3回の開催となった。
- 社協の会費や募金活動、寄附金、募金箱、収益事業等、自主財源の確保について検討した。
- 年々右肩下がりの実績となっている社協会費について、市民によりわかりやすく、かつ親しみやすくする方法を検討した結果、「ちょビット協力金」という愛称をつけることになった。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	10月12日(月) 視聴覚室	○令和2年度総務部会について ○令和2年度社会福祉協議会会員募集の現況について ○地域福祉活動をより推進していくための財源の確保について
第2回	1月19日(火) 視聴覚室及び オンライン	○社会福祉協議会会員募集の名称について ○自主財源の確保について
第3回	3月8日(月) 201会議室及び オンライン	○社会福祉協議会会員募集の名称について

分析・課題

○地域福祉活動の推進や制度の狭間の地域生活課題への対応を図るためにも、自主財源の確保は喫緊の課題となっている。従来の取組をより一層充実するとともに、新たな資金調達の方法についても検討を進めていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	広報部会				

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響により、今年度は2回のみ開催となった。
- 第2回広報部会では、ふくしの窓の校正原稿を基に、市民にわかりやすい表現のチェックや用語の補足説明など追加し、より伝わりやすい紙面構成に努めた。
- ホームページのリニューアルに向けての動きや社協YouTube公式チャンネルの開設などSNSの活用について、現状を報告した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	11月5日(木) 団体室	○正副委員長の選出 ○広報部会の役割とこれまでの経過について ○社協の広報活動について
第2回	3月29日(月) 団体室	○ふくしの窓267号(3月)の振り返り ○ふくしの窓268号(5月)の校正・確認 ○社協法人化50周年記念について ○その他広報活動について

分析・課題

- ふくしの窓については、引き続きカラー構成や写真の効果的な見せ方など見やすくわかりやすい誌面になるよう工夫していく必要がある。
- YouTubeでの動画配信など、社協や事業をPRしていくため、様々な媒体を利用した情報発信の方法

についても検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市希望の家及び希望の家深大寺運営委員会			市	

結果の概要

- 年4回の実施計画であったが、感染症拡大により11月と3月の2回の実施となった。
 - 利用者主体の施設運営に、市民の声を反映することができた。
- 第3部のP8、P18参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	市民活動支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- 市民主体の開かれた運営を基本としさらなる充実を目指した。
 - コロナ禍において、オンラインも活用し出席率の向上に努めた。
- 第2部のP3参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	調布市こころの健康支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- 第1回は書面での開催、第2、3回は集合形式にて開催した。
 - 市民主体の開かれた運営を基本としさらなる充実を目指した。
- 第4部のP31参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	共同募金調布地区配分推薦委員会	他			

結果の概要

- 地域における共同募金の配分について、地域の福祉ニーズを反映させることを目的として、東京都共同募金会の配分委員会に対する意見具申を行った。令和2年度は17団体の推薦を行い、合わせて申請受付や推薦の基準についても話し合った。

実績等

回	開催日	会場	内 容
	6月12日(金)	書面通知	<ul style="list-style-type: none"> ○共同募金調布地区配分推薦委員会設置要綱について ○共同募金調布地区配分推薦委員会配分推薦基準について ○地域配分(B配分)申請書類について ○令和2年度地域配分(B配分)広報活動について ○令和元年度地域配分(B配分)申請団体申請額及び推薦額について ○令和2年度配分推薦委員会の流れ
第1回	11月24日(火)	視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ○委員長あいさつ ○配分推薦基準 ○審査方法説明 ○申請施設・団体一覧 ○令和2年度今後配分推薦委員会の流れ
第2回	1月19日(火)	視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ○資料及び審査方法確認 ○地域配分申請事業審査 ○令和2年度歳末たすけあい配分計画について

分析・課題

- 申請については、都共募と調布独自の書類など提出書類も多いため、団体によっては申請段階で書類の作成補助や確認など丁寧な対応が必要となっている。
- 受配団体にも街頭募金や募金箱の設置など共同募金運動に協力してもらうよう、引き続き働きかけを行っていく。
- 昨年度より申請団体の増加したため、宿泊訓練・日帰り訓練事業の申請はバスの借上げ、有料道路、乗務員の経費のみの配分とし、助成決定額が申請額よりも減額となっている。その結果、当初の計画の変更を余儀なくされる団体も増えてきている。
- 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響を受けて、宿泊事業や日帰り事業を実施することが難しくなったので、備品整備事業(新型コロナウイルス対策用品、防災対策用品等)に変更して実施した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	あんしん未来支援事業審査会		市		

結果の概要

- あんしん未来支援事業を適正、かつ円滑に実施するため、事業の実施状況について必要な報告をするほか、当該実施状況に関して審査を行った。新型コロナウイルス感染拡大予防により第1回、第5回は、中止とした。(詳細はあんしん未来支援事業報告参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	調布市福祉人材育成センター運営委員会			市	

結果の概要

○事業の適切な運営、実施について協議した。

第1部のP148参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	子ども・若者総合支援事業運営委員会			市	

結果の概要

○運営委員会（学識経験者、教育・福祉関係者等）を3回開催した。事業の進捗状況を報告し、委員の方より意見及び助言をいただいた。

第1部のP116参照

3 財政基盤

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	会費の拡大【重点項目】	会			

結果の概要

○自治会、民生児童委員、個人、法人等のご協力により、4,518,595円の会費及び協力金をいただき、ひだまりサロンや相談事業等、以下の事業に活用した。

○新型コロナウイルスの影響で、前年度比67%の実績となった。感染予防のため、ほとんどの自治会に対して納入袋での協力依頼が行えず、払込取扱票が印刷されたチラシを配布する形式をとった。

○オンライン決済フォーム「シンカブル」でクレジットカードにより会費がお支払いできるシステムを新たに導入し、46件79,800円の納入をいただいた。

○法人・団体にダイレクトメールにより協力依頼を行い、昨年度を上回る納入をいただいた。

○個人会員・賛助会員・協力会員が減少する中、特別賛助会員は昨年度に比べて約4割増となった。

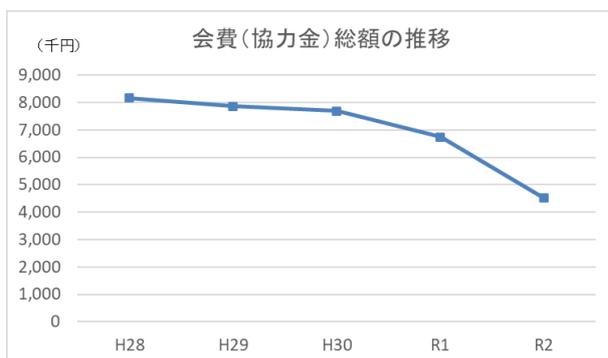
○会員募集運動に協力いただいた自治会、婦人会が取りまとめた会費実績の9%を申請に基づき地域福祉活動費として交付した。

No.	事業名	No.	事業名
1	災害対策	6	地域相談事業
2	会員管理	7	あったか支援金
3	地域福祉活動計画	8	ボランティア活動推進
4	ひだまりサロン	9	見守りあんしん訪問
5	小地域交流事業	10	緊急援護資金貸付

実績等

会員種別	会員数 (人・団体)	会費額 (円)
個人会員	1,538	845,989
賛助会員	852	1,474,206
団体会員	97	962,500
特別賛助会員	80	1,071,850
協力会員	667	164,050
会費合計	3,234	4,518,595

取り扱い別	件数 (件)	会費額 (円)
自治会・婦人会扱	138	2,024,191
民生児童委員扱	22	89,000
法人・団体	98	842,500
老人クラブ	4	14,000
個人	931	1,273,904
社協役職員扱	154	275,000
合計	1,347	4,518,595



年度	会費(協力金)総額
平成28年度	8,173,364円
平成29年度	7,861,345円
平成30年度	7,690,913円
令和元年度	6,748,788円
令和2年度	4,518,595円

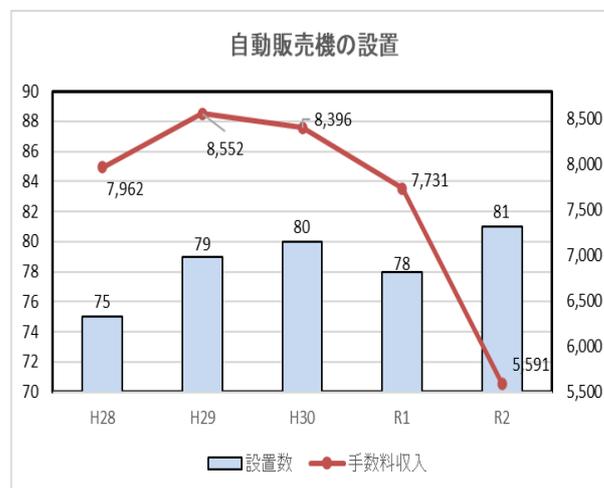
分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響で例年通りの依頼ができず、前年度比で2/3にとどまった。自治会加入率も減少している中で、自治会のない地域やマンション等への周知を行っていく必要がある。
- オンラインでの受付を導入したところ、46の方が納入してくださった。曜日や時間帯を選ばず、インターネット上で完結する手軽さがあるため、更なる拡大を図りたい。
- 会費は多様な事業に活用されており、歳末たすけあい運動の使途と重なる部分も多い。市民の理解をより深めるためにも、使途の整理が必要。また、YouTubeチャンネルで会費が活用される事業の紹介をする等、使途が可視化できるような取組を行っていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主 収	補助	委託	事業
(2)	収益事業				

結果の概要

- 新型コロナウイルス拡大に伴う緊急事態宣言等により、公共施設の閉鎖、またイベントが中止となったことで稼働が制限され、大幅な減収となった。
- 総合福祉センター内の自動販売機については、ボランティア団体の協力を得て、販売商品を説明する点字をつけ、視覚障がい者の方にも購入しやすい工夫している。
- 確保した自主財源は、地域福祉推進のために活用した。



実績等

自動販売機設置場所	台数	自動販売機設置場所	台数
調布市役所	2台	調布市シルバー人材センター	1台
調布市グリーンホール	3台	国領駅前ココスクエア駐車場	6台
関東村跡地	7台	調布福祉作業所	1台
緑ヶ丘テニスコート	1台	西調布体育館	1台
深大寺テニスコート	1台	西町公園	1台
多摩川テニスコート	2台	深大寺老人憩の家	1台
西町少年野球場	1台	調布市こころの健康支援センター	2台
調布市希望の家	1台	つつじヶ丘児童館	1台
調布市西部公民館	1台	飛田給スタジアム通り	2台
調布市北部公民館	1台	西部地域福祉センター	1台
調布市教育会館	1台	入間地域福祉センター	1台
調布駅北口入口横	3台	調布ヶ丘地域福祉センター	1台
大町スポーツ施設	1台	深大寺地域福祉センター	1台
飛田給駅北自転車駐車場	1台	染地地域福祉センター	2台
調布中前児童遊園	2台	菊野台地域福祉センター	1台
調布市総合福祉センター	7台	布多公園	1台
郷土博物館	1台	多摩川市民広場	2台
郷土博物館分室	2台	下石原地域福祉センター	1台
八雲台ふれあいの家	2台	金子地域福祉センター	1台
上石原ふれあいの家(保育園)	1台	多摩川五丁目児童遊園	1台
下布田ふれあいの家(保育園)	1台	小島町倉庫	1台
調布市文化会館たづくり	2台	下布田公園	1台
調布市議会事務局	1台	調布市調布西第3自転車駐車場	2台
多摩川緑地公園	3台	合 計	81台

分析・課題

- 新型コロナウイルス拡大防止対策中の公共施設の閉鎖や外出自粛などにより、売り上げが急激に減少した。
- 状況、ニーズに応じて、設置する機器を検討しながら増設を目指す。
- 販売数を多く見込める設置場所を開拓し、自主財源の確保に努めていきたい。
- 自販機の設置、自販機による清涼飲料水を購入いただくため、周知をしていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	広告料収入				○

結果の概要

- 「ふくしの窓」への広告掲載として、1回の発行につき最大9コマ・年間6回の広告掲載スペースを確保し、市内企業等に1コマ20,000円の広告を掲載していただいた。

○企業や団体等に向け周知するため、社協ホームページの「ふくしの窓」コーナーに広告主募集の記事を作成した。

実績等

○企業・団体から計 37 コマに広告掲載の申込をいただき、740,000 円の収入があった。

分析・課題

○昨年度に比べると掲載数が減少している。新規広告掲載について、市内企業等に企業の PR と同時に地域貢献の一環として積極的に依頼していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	研修生受け入れ収入	他			

結果の概要

- 将来、福祉職や教職を目指す人材の支援・育成を目的に受け入れを行っている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、予定していた実習について受入期間の短縮や中止、また受入方法を変更（オンラインでの講義等）し実施した。

実績等

	学校・企業数	人数	収入
大学・短大 専門学校	13 校	33 人	308,680 円
企業の職員研修等	中止	中止	0 円
合計	13	33 人	308,680 円

※学校・人数については、研修生受入収入が発生するもののみカウントしている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	募金箱の設置	寄			

結果の概要

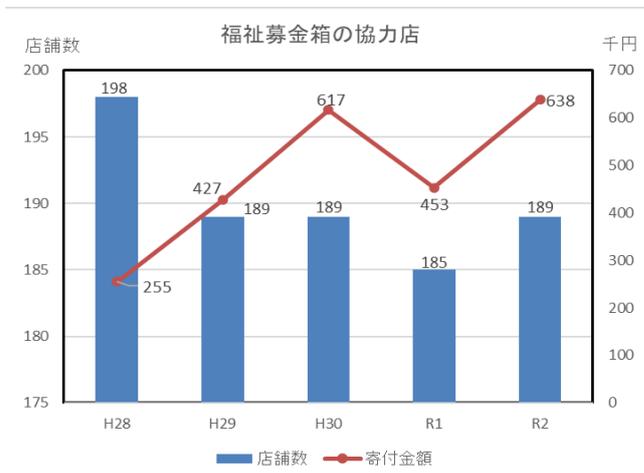
○昨年度に比べ、寄付金額は 185,231 円増額となった。

実績等

福祉募金箱設置協力店数	188 店
寄付金額	638,101 円

分析・課題

○社協の宣伝も踏まえ、募金箱設置店にふくしの



窓や社協のしおり等の広報物、会員募集のリーフレットの配架を依頼する等、積極的な普及活動を行っていく。

○地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員をはじめ、募金箱設置店のある地域を活動領域とする他の事業担当者と連携し、定期的な設置店の訪問により深い地域とのつながりづくりを図る。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	寄付金収入	寄			

※決算額は福祉募金箱を含む寄付金収入の額

結果の概要

○定期的にご寄付をお持ちくださる個人、団体等、多くの市民のみなさんからの福祉への思いを浄財として寄付という形でお寄せいただいた。

実績等

<寄付金額（福祉募金箱含）>

件数	寄付金額
寄付金 256 件	31,475,132 円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	障害者総合支援法に基づく事業所収入				○

結果の概要

○障害者総合支援法の指定事業所として、指定相談支援事業、同行援護事業を行った。

実績等

事業名	令和2年度収入
指定相談支援事業	5,245,842 円
障害児相談支援事業	171,771 円
指定相談支援事業（こころ）	12,176,010 円
障害児相談支援事業（こころ）	0 円
同行援護事業	11,914,995 円
生活介護事業所（希望の家深大寺）	70,392,643 円
合 計	99,901,261 円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	赤い羽根共同募金会からの収入				
(9)	歳末たすけあい運動からの収入	共歳			

結果の概要

○社会福祉法人調布市社会福祉協議会として東京都共同募金会へ地域配分（B 配分）を申請し、

1,598,000円の配分を受けた。また、令和元年度に歳末たすけあい運動で寄せられた募金(6,107,227円)を地域福祉活動費として、東京都共同募金会から收受し、ひだまりサロン事業や見守りあんしん訪問などに活用した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	補助金収入				
(11)	受託金収入		○	○	

結果の概要

○調布市からの補助金並びに東京都社会福祉協議会及び調布市からの委託金を次の事業実施のため収入した。

①補助金

(調布市)

No.	事業名	No.	事業名
1	法人運営費	11	中途失聴・難聴者のための手話講習会
2	ひだまりサロン	12	健康支援金の支給
3	高齢者会食サービス	13	地域福祉コーディネーター
4	高齢者訪問理美容サービス	14	福祉団体助成金
5	電話訪問	15	福祉サービス利用援助
6	友愛訪問	16	ボランティア活動推進
7	福祉機器貸出	17	希望の家深大寺
8	あんしん未来支援事業	18	調布市障害者日中活動系サービス推進事業
9	手話講習会	19	福祉人材育成事業
10	手話通訳者派遣	20	新型コロナウイルス感染拡大防止対策推進事業

②受託金

(調布市)

No.	事業名	No.	事業名
1	通所介護及び介護予防通所介護	13	調布市総合福祉センター運営
2	介護予防・生活支援サービス事業	14	調布市希望の家
3	ふれあい給食	15	市民活動支援センター
4	老人クラブ育成	16	調布市こころの健康支援センター
5	障害者相談支援	17	障害者就労支援事業
6	障害者地域活動支援センター	18	子ども・若者総合支援事業
7	在宅障害者(児)緊急一時保護	19	生活困窮者自立支援事業
8	地域福祉活動支援事業	20	生活困窮者家計改善支援事業
9	高次脳機能障害相談支援事業	21	高齢者家事援助ヘルパー養成研修
10	受験生チャレンジ貸付	22	福祉人材育成センター
11	放課後等デイサービス事業	23	生活支援コーディネーター
12	障害者等雇用	24	発達障害者支援

③東京都補助金

No.	事業名
1	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

④東京都社会福祉協議会

No.	事業名
1	生活福祉資金貸付（特例貸付含む）
2	地域福祉権利擁護事業
3	臨時特例つなぎ資金
4	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

実績等

○令和2年度の補助金及び受託金は、以下のとおりである。

区 分	金 額
調布市補助金	382,667,169 円
調布市受託金	596,544,691 円
東京都補助金	4,188,000 円
東京都社会福祉協議会補助金	100,000 円
東京都社会福祉協議会受託金	36,457,876 円
合 計	1,019,957,736 円

4 啓発・普及・宣伝事業

(1) 啓発事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)①	調布市福祉大会	会寄基			

結果の概要

- 第32回調布市福祉大会を開催し、永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民や団体並びに福祉事業に対する高額寄付者を顕彰した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、検温の実施、消毒の徹底、席の指定と間隔の確保、受付の簡素化やブロックごとの退席による密の回避等、対策した。また、会場に定員の制限があることから、一般招待は行わなかった。
- 滞在時間の短縮のため、アトラクションは実施せず、式典のみで開催した。
- 小地域交流事業(国領)や子ども食堂等で活躍されている嶋田浩一氏に、活動発表をしていただいた。
- 受賞者及び参加者への記念品として、市内の福祉作業所の手作り品を配布した。

実績等

開催日時	10月6日(火)午後2時～3時10分
会場	調布市文化会館たづくり くすのきホール
参加者	171人
内容	<式典> 表彰・感謝状対象者：社協 291人 共同募金 22人 活動発表：小地域交流事業(国領) 嶋田浩一氏

分析・課題

- 永年活動されている方に対して、日頃の感謝を直接伝えることができた。受賞者からは「これを励みに活動を続けていきたい」等の言葉をいただき、当事業が活動されている方のやりがいにつながっていることがうかがえた。
- 社協・共同募金併せ、300人を超える方に表彰・感謝状をお渡しした。多くの方に地域福祉活動が支えられていることを改めて実感する機会となった。
- 新型コロナウイルスの対策として、受付方法や職員体制、会場配置、内容の見直し等を行った結果、待ち時間の削減やスムーズな案内を行うことができた。来年度以降も見直しを図り、円滑な運営につなげたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)②	福祉講演会				

結果の概要

- 「ちょうふ地域福祉フォーラム」に形を変え開催した(第1部のP83参照)。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)③	調布市福祉まつり				○

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響がある中で例年通りの実施は厳しく、参加団体・来場者の安全を最優先に考慮し、第43回調布市福祉まつりは中止することとなった。
- 今までの福祉まつりで築いてきた絆・つながりを来年度につなげるため、福祉まつりの3つの目的のうち「市民の方に福祉を理解してもらう」「参加者、市民同士の交流」に重点を置き、密を避けるなど感染予防対策を徹底しながら代替企画『コロナに負けない!調布の福祉!』を企画・実施した。
- コロナ禍を鑑みた新しい取り組みとして、地域の輪を広げていくこと、来年またみんなで集まって踊ることができることを目的とし、第40回福祉まつりに完成した「調布のわか音頭」のレクチャー動画を地域の方にも参加してもらいながら作成した。動画は調布社協のYouTubeチャンネルで公開し、ふくしの窓3月号にて市民へ広報した。来年度以降も活用していく。

実績等

○代替企画内容

①カフェ&ショップめぐり 期間延長

- ・第42回調布市福祉まつりから第43回調布市福祉まつりまでの期間で実施している「カフェ&ショップめぐり」について、その期間を第44回（令和3年度）調布市福祉まつりまで延長した。
- ・協力店全15店舗へ期間延長の依頼をし、福祉まつり担当職員が分担して『カフェ&ショップめぐり延長のお知らせ』の掲示物と改訂版マニュアルを各店舗へ直接配布。今後も定期的に訪問しながら作業所やお店の現状を伺っていく。

②メッセージポスターの作成



- ・第43回福祉まつりは中止となったが、疫病退散を願いアマビエをモチーフとした、「来年、また会いましょう」というメッセージ性のあるポスターを作成した。

<協力者及び団体>

アマビエ作画：有限会社パンデコングラフィックス 原子氏
ポスターデザイン：めじろ作業所

配架先：総合福祉センター、希望の家（本場・分場・深大寺）、市民活動支援センター、菊野台コーナー、緑ヶ丘コーナー、染地コーナー、富士見コーナー、西部コーナー、野ヶ谷の郷、こころの健康支援センター

※作成費は、昨年度福祉まつり収益金の繰越金を充当。

③ウィンドウ美術館の活用

- ・福祉まつりの歴代ポスターと昨年度参加団体のPRポスターを掲示。
実施期間：令和2年11月2日（月）～12月28日（月）
場所：総合福祉センター1階 ウィンドウ部分
- ・今では福祉まつりの定番となった、黄色地に赤文字のデザインになる前のポスターを改めて地域の方々に見てもらうことを目的として、第30回～第34回の歴代福祉まつりポスターを掲示した。
- ・昨年度参加団体のうち42団体のPRポスターを、2グループに分け期間ごとに入れ替えて掲示した。
1グループ目：11月2日（月）～11月20日（金）
2グループ目：11月24日（火）～12月11日（金）
なお、12月14日（月）～12月28日（月）は全42団体のPRポスターを全てウィンドウ部分に掲示した。

④ふくしの窓『コロナに負けない! 調布の福祉!』特集

- ・昨年度福祉まつり参加団体へPR記事作成の協力依頼を行い、11月号に18団体、1月号に18団体の計36団体の紹介を掲載。2号連続特集として市内の福祉施設・団体を市民に向けてPRした。
- ・11月号1面は福祉まつりのテーマカラーである黄色と赤色をメインに作成。福祉まつり当日の写真や福祉まつりキャラクターのサニーくんも掲載し、福祉まつりを思い出してもらえるようなデザインとした。また、1月号にはメッセージポスターに使われた『アマビエ』の

イラストを掲載。疫病退散を願い、令和3年も地域のつながりを大切にしていこうというメッセージを込めた。

○PR ポスター展示、ふくしの窓『コロナに負けない！調布の福祉！』特集号 参加団体(50音順)

- 1 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード
- 2 一般社団法人 多摩南部成年後見センター
- 3 一般社団法人ぬくもり society
- 4 医療法人社団研精会 東京さつきホスピタルデイケア
- 5 医療法人社団桐光会 フロリール調布
- 6 NPO 法人エクセルシア リサイクルショップ不思議屋
- 7 NPO 法人クッキングハウス会
- 8 NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム
- 9 NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム家族会
- 10 NPO 法人爽々苑 爽々苑、爽々苑やわらぎの家
- 11 NPO 法人調布心身障害児・者親の会
- 12 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす
- 13 NPO 法人なないろの会 クレヨンキッズ&れいんぼー
- 14 NPO 法人にこにこの会
- 15 NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所
- 16 NPO 法人調布ハンディキャブ
- 17 NPO 法人ひなげしの会 ポピーの家
- 18 NPO 法人ファーストステップ 就労継続支援B型事業所ファーストステップ
- 19 NPO 法人ふみ月の会
- 20 NPO 法人ポコポコ・ホッピング
- 21 NPO 法人リフレッシュ工房
- 22 NPO 法人わかばの会
- 23 カノン調布 認知症支え合う輪
- 24 菊野台点字サークル
- 25 公益財団法人 調布ゆうあい福祉公社
- 26 さるすべり
- 27 CCD (調布市障害者協議会)
- 28 社会福祉法人新の会 はあと・ふる・えりあ
- 29 社会福祉法人大泉旭出学園 旭出調布福祉作業所、調布福祉園
- 30 社会福祉法人くすのき会
- 31 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布 若葉・柴崎ケアセンター
- 32 社会福祉法人新樹会 創造印刷・農園
- 33 社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き、しごと場大好き
- 34 社会福祉法人調布市社会福祉事業団
- 35 社会福祉法人桐仁会 ちょうふ花園
- 36 ソウギ SOS
- 37 調布市遺族厚生会
- 38 調布市視覚障害者福祉協会

- 39 調布市聴覚障害者協会
- 40 調布市ちょうふの里 高齢者在宅サービスセンター
- 41 調布市登録手話通訳者の会
- 42 ちょうふタバコ対策ネットワーク
- 43 東京税理士会 武蔵府中支部
- 44 東京司法書士会 調布支部
- 45 フリーフライト
- 46 リトルキッズベルーガ
- 47 りんりんの会

分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響が大きく中止せざるを得なかったが、代替企画として来年度につながる企画を実施することで福祉まつりの存在を参加団体や市民の方に思い出してもらうことができた。
- 新しい試みとしてYouTubeでの動画配信に取り組んだことで、オンラインを活用した企画を考案していくきっかけとなった。今後は地域の方も巻き込みながら、さらに動画企画を盛り上げていけるように検討していく。
- 作業所団体の飲食販売や奉仕団体のバザー、当事者団体による体験コーナーなど、今までは人と人が交流・対面して行う企画がほとんどであったが、今後しばらくは例年のような形での開催が難しくなることが想定される。そのため、開催に向けて実行委員や参加団体の意見や考えを取り入れながら慎重に検討していくことが必要となってくる。

(2) 普及事業

番号	事業名	財源			
		自主 会費	補助	委託	事業
(2)①	会員募集運動				

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響で一部運動に制限はあったが、年間を通して会員募集を行った。
- 調布市福祉まつりや小地域交流事業が中止となったため、イベントでの周知はできなかった。
- 会議が中止となったため、調布市民生児童委員協議会へはダイレクトメールでの案内となった。

実績等

実施日	実施場所
11月27日(金)	調布市老人クラブ連合会理事会

分析・課題

- 会員募集と同時に、社協や地域福活動の認知度を高めていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)②	赤い羽根共同募金運動	共			

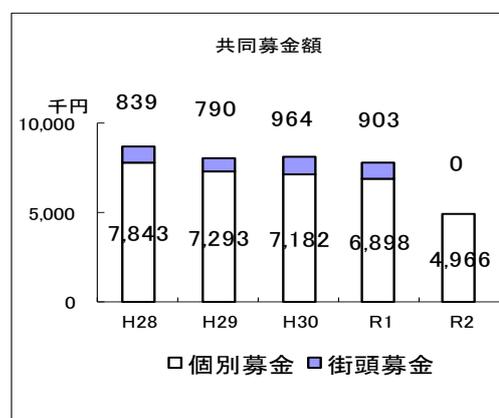
結果の概要

- 共同募金運動の推進のために、調布地区協力会に協力して募金活動を行った。
- 募金運動期間は10月1日～3月31日であるが、例年実施している自治会説明会や街頭募金活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
- 自治会に向けた募金協力依頼については、希望する自治会を除いて、従来の戸別募金でなく自治会一括での協力を依頼した。
- 調布市少年野球連盟では、市内街頭募金が中止となったため、各チーム内において募金活動を実施していただいた。
- 昨年に引き続き、FC 東京の協力を得て、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、味の素スタジアム内でのチャリティーコラボピンバッジの販売と募金活動を実施した。
- OB 配分の受配施設・団体にポスター掲示や募金箱の設置を依頼し、募金運動への協力を呼びかけた。

実績等

①募金実績

方法	募金額
個別募金	4,966,257円
街頭募金	0円
合計	4,966,257円



②理事会等開催状況

開催日	項目	内容
4月10日 (金)	監査	○令和元年度事業監査
書面開催	共同募金調布地区協力会 第1回理事会	○令和元年度事業報告及び収入支出決算について ○令和元年度監査報告 ○令和2年度事業計画及び収入支出予算について ○社会福祉法人調布市社会福祉協議会 共同募金調布地区配分推薦委員会委員の推薦について
中止 (書類送付)	共同募金調布地区協力会 第2回理事会	○令和2年度赤い羽根共同募金の実施について ○第32回福祉大会について
中止	東京都共同募金会説明会	○令和2年度共同募金運動について
中止	共同募金協力依頼及び取 り扱い説明会	○自治会長に出席いただき募金活動の協力依頼と取扱いに関する説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
10月6日 (火)	第32回福祉大会	○共同募金協力者へ表彰等を行った。 《表彰状》継続協力4名・1団体、継続役員1名、退任役員2名

		《感謝状》高額寄付3団体、継続協力6名・1団体、退任役員4名
10月25日 (日)、11月 1日(日)、 3日(火・祝)	第9回赤い羽根少年野球 大会	○東京都共同募金会のキッズサポーター事業の一環として開催した。 ○多摩地域の野球連盟を代表する28チームがトーナメント形式で対戦した。

分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響により、従来の協力依頼や募金活動が実施できなかったため、募金額は、全体として280万円ほど前年を下回った。特に自治会を通しての募金額は、感染防止対策として、戸別募金によらず自治会一括での協力を依頼したことや、自治会活動自体を休止した自治会があった影響も大きい。
- 個人や法人の募金については前年度を上回っており、自治会を通さない個人からの募金やコロナ禍でも地域のために協力したいという新規法人が増えた。
- 引き続き、調布で集めた募金は調布の福祉活動に還元されることをPRしながら、従来の募金依頼方法だけでなく、オンラインでの募金システムも導入し積極的な働きかけを行っていきたい。

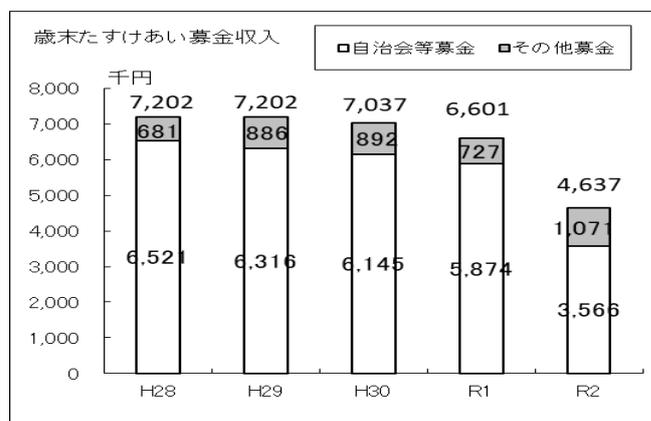
番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)③	歳末たすけあい運動				

結果の概要

- 地域福祉活動を幅広く展開し充実させるため、自治会や調市民生児童委員協議会等の協力を得て、「歳末たすけあい運動」を実施した。
- 歳末たすけあい運動としては、都内で初めてオンライン募金を導入した。オンライン決済フォーム「シンカブル」にてクレジットカードでお支払いいただき、20件51,000円の納入をいただいた。コロナ禍でのオンライン募金開始の取り組みを新聞、ケーブルテレビなどメディアにも取り上げられた。
- 例年どおり、民生児童委員への依頼とともに、市内法人・個人にむけダイレクトメールで募金協力を依頼。しかし、自治会の解散や活動縮小、新型コロナウイルス拡大防止の影響により、他募金と同じように自治会募金額が落ち込み、総額も減少となった。

実績等

- 12月1日～31日が募金運動期間であるが、当該年度の募金の受付は翌1月末までとしている。



①募金実績

(収入)

区分	件数	金額 (円)
① 自治会	211 件	3,566,108
② 法人・団体	59 件	598,681
③ 個人・他	192 件	442,470
④ 募金箱	7 件	25,236
⑤ H31.2~H31.3 受付募金 (前年度繰越金)	1 件	4,900
⑥ R2.2~R3.3 受付募金 (次年度繰越金)	5 件	220,400
合 計	475 件	4,857,795

※令和2年度は令和3年1月31日を精算日とし、それ以降の募金は次年度募金収入(繰越金)となる。

そのため、当該年度募金実績は次年度繰越分を除いた①~⑤の合計額(4,637,395円)となり、当該年度決算額は前年度繰越分を除いた①~④、⑥の合計額(4,852,895円)となる。

(支出)

区分	件数	金額 (円)
東京都共同募金会へ納付※		4,241,157
事務費		396,238
R3.2~R3.3 受付募金 (次年度繰越分)	5 件	220,400
合 計		4,857,795

※翌年度の地域福祉活動費(相談事業、見守りあんしん訪問等の事業の経費)として配分される。

分析・課題

○全国的に募金額が減少傾向にあり、調布市においても同様である。解散や高齢化による自治会活動の縮小化の影響もあり今後の増額は難しい状況だが、地域福祉の向上に向けてPRの方法を工夫するなど、新たな取組が必要である。今年度は新型コロナウイルス拡大防止の影響で自治会へ納入袋での募金依頼は難しかった。今年度新たに始めたオンライン募金を含め、今後、依頼の方法を模索したい。

(3) 宣伝事業

番号	事業名	財源			
		自主 共基	補助 市	委託	事業 ○
(3)①	機関紙「ふくしの窓」の発行				○

結果の概要

- 社協活動の周知と福祉・地域に関する情報を発信するため、機関紙「ふくしの窓」を6回発行し、市内全戸にポスティング配布した。
- ポスティング作業については、福祉への理解と市内の障がい者・高齢者の雇用創出を目的として、調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターへ引き続き依頼した。
- より見やすく親しみのもてる内容とするよう、毎号フォントの統一や、写真やイラストなどの活用に努めた。

実績等

発行部数	1回につき117,920部
形式・内容	タブロイド版、8面構成。カラー印刷
発行日	奇数月の10日
配布方法	市内全戸へのポスティングによる配布、関係機関窓口、希望者への郵送
モニター	モニター12人より意見を聞き、紙面づくりに反映させた。
その他	9月号に会費の郵便振込用紙をミシン目で切り取れる形で掲載した。

分析・課題

- 昨年度に引き続き、各面とも写真の掲載を増やし、活動の様子や内容についてわかりやすい紙面になるよう心がけた。また今後も色使いや割付を含め、検討していく。
- 1～3面の特集記事については掲載する事業に偏りが大きいため、今後は社協のあらゆる事業を多くの市民に知ってもらえるよう部署ごとに特集を組んでいきたい。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託	事業 ○
(3)②	社協ホームページの運営				○

結果の概要

- 新型コロナウイルス関連等、最新の情報を発信するため、随時更新作業を行った。
- 問い合わせフォームへの連絡に対しては、各事業担当者と内容を確認しながらスピーディーな回答を心がけた。

分析・課題

- 現在のホームページは開設から約10年が経過していることから、スマートフォンへの対応やより効果的な情報発信のため、リニューアルを図る必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主 共基	補助 市	委託	事業 ○
(3)③	「社協のしおり」の発行				○

結果の概要

- 令和2年度は2,500部発行した。
- 各部署と協力し、最新の情報とわかりやすい内容に務めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)④	地域マスメディアの活用				

結果の概要

- 調布FMの毎月第3木曜日午後1時30分から45分までの「調布市ほっとインフォメーション」の時

間枠の中で、社協情報を紹介した(計10回)。4月・5月は緊急事態宣言発令につき休止。

実績等

○調布FM出演状況

6月18日	「電話訪問」、「見守りあんしん訪問」利用者募集 障害者就労支援事業「就労支援室ライズ」
7月16日	初任者研修受講生募 あんしん未来事業
8月20日	さるすべりシニア調布(老人クラブ連合会) 受験生チャレンジ
9月17日	令和2年度 赤い羽根共同募金運動 市基準通所型サービス「よつば」
10月15日	希望の家 送迎員募集・その他PR こころの健康支援センター事業PR
11月19日	令和2年度 歳末たすけあい運動 第43回調布市福祉まつり
12月17日	放課後等デイサービス「ぴっころ」 保育のお仕事相談面接会・ちょうふ福祉実践フォーラム
1月21日	調布市社会福祉協議会「会員募集」 地域福祉権利擁護事業
2月18日	令和3年度地域福祉活動支援事業助成団体募集 中途手話講習会受講生募集
3月18日	調布市いきいきクラブ調理運営協議会 ボランティア保険

分析・課題

○年間の出演テーマを精査し優先順位をつけるなどして、調整していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑤	ウインドウ美術館				

結果の概要

- 総合福祉センター北側ウインドウを提供して、市内の福祉施設の求人情報を掲示した。
- 福祉まつりが中止となる中、歴代福祉まつりポスターを掲示した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止施策により、例年の作品・制作物の掲示はなかった。

5 関係機関との連携

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	役員等の他機関参画				

結果の概要

○調布市、東京都社会福祉協議会、関係機関の44の委員会等へ役員・職員が参加した。

実績等

○下記の派遣実績があった。

- 1 調布市特別職報酬等審議会へ会長を派遣
- 2 調布市防災会議へ会長を派遣
- 3 調布市民生児童委員推薦会へ会長を派遣
- 4 社会福祉法人東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会部会へ会長を派遣
- 5 社会福祉法人東京かたばみ会評議員会へ会長、理事（副会長）1人を派遣
- 6 調布市公民館運営審議会へ常務理事を派遣
- 7 公益財団法人調布ゆうあい福祉公社評議員会へ常務理事を派遣
- 8 東京都共同募金会調布地区協力会理事会へ常務理事、理事（副会長）1人を派遣
- 9 社会福祉法人調布市社会福祉事業団評議員会へ理事（副会長）1人を派遣
- 10 調布市地域福祉推進会議に職員1人を派遣
- 11 調布市相談支援包括化推進会議本会議へ職員2人を派遣
- 12 調布市相談支援包括化推進会議部会へ職員4人を派遣
- 13 調布市相談支援包括化推進会議8050専門部会へ職員2人を派遣
- 14 調布市高齢者福祉推進協議会へ職員1人を派遣
- 15 調布市介護保険認定審査会へ職員2人を派遣
- 16 調布市障害者総合計画策定委員会へ職員2人を派遣
- 17 調布市障害支援区分判定審査会へ職員1人を派遣
- 18 調布市障害者自立支援協議会委員へ職員1人を派遣
- 19 調布市障害者自立支援協議会ワーキングへ職員3人を派遣
- 20 調布市民健康づくりプラン推進連絡会へ職員1人を派遣
- 21 調布市総合計画策定庁内検討プロジェクト・チームへ職員1人を派遣
- 22 調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会へ職員1人を派遣
- 23 調布市FC東京情報交換会へ職員1人を派遣
- 24 調布市男女共同参画推進センター運営委員会へ職員1人を派遣
- 25 調布市子ども・若者支援地域ネットワークへ職員2人を派遣
- 26 調布市立染地児童館運営会議委員へ職員1人を派遣
- 27 調布市立調布ヶ丘児童館運営会議委員へ職員1人を派遣
- 28 調布市総合交通計画策定等検討委員会へ職員1人を派遣
- 29 調布市公共交通活性化協議会へ職員1人を派遣
- 30 調布市居住支援協議会へ職員1人を派遣
- 31 調布市空き家等対策推進協議会へ職員1人を派遣
- 32 調布市特別支援教育連絡協議会へ職員1人を派遣

- 33 調布市中学生職場体験実施協議会へ職員1人を派遣
- 34 東京ボランティア・市民活動センター企業CSR等連携促進事業東京D&Iプロジェクト運営連絡会へ職員1人を派遣
- 35 調布市自治会連合協議会理事会へ職員1人を派遣（参与）
- 36 社会福祉法人くすのき会監事へ職員1人を派遣
- 37 社会福祉法人大泉旭出学園旭出調布福祉作業所第三者委員へ職員1人を派遣
- 38 社会福祉法人にじの会評議員へ職員1人を派遣
- 39 NPO法人調布心身障害児・者親の会理事へ職員1人、監事へ職員1人を派遣
- 40 社会福祉法人新の会第三者委員へ職員1人を派遣
- 41 調布を耕す会の理事へ職員1人、評議員へ職員1人を派遣
- 42 NPO法人にこにこの会理事へ職員1人を派遣
- 43 NPO法人調布ドリーム理事へ職員1人を派遣
- 44 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会へ職員1人を派遣

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	民生児童委員				

結果の概要

- 民生児童委員との連携強化のため各種協議会に参加し事業の周知、協力依頼などを行った。
- 「社協事業」の理解を得るために各地区の協議会において説明を実施した。
- その他、小地域交流事業等各種地域事業に、参加協力をいただいた。

実績等

- 民生児童委員全員協議会、民生児童委員会長協議会、地区民生児童委員協議会、民生児童委員各部会へ管理職、担当職員が適宜参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	自治会				

結果の概要

- 会員募集運動や募金運動の協力を要請するための説明会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。
- 調布市自治会連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。

実績等

- 自治会への説明会

回	開催日	内 容
第1回	6月17日（水）	令和2年度会員募集運動の協力依頼と説明会 →中止
第2回	9月9日（水）	令和2年度共同募金の協力依頼と説明会 →中止

第3回	11月11日(水)	令和2年度歳末たすけあい運動の協力依頼と説明会 →中止
-----	-----------	-----------------------------

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市自治会連合協議会				

結果の概要

○連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。(再掲)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	北多摩南部ブロック連絡会				

結果の概要

○社協北多摩南部ブロック連絡会の総会や連絡会、研修会等に参加し、近隣5市社協での情報交換、交流を行った。(今年度幹事社協は、小金井社協)

実績等

会議・研修会等	開催日	内 容
第1回事務局長会	9月15日(木)	① 令和元年度事業報告及び決算について ② 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について ③ 北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会総会について ④ 情報交換
会長等役職員連絡会総会 (小金井社協)	10月26日(月)	① 令和元年度事業報告、決算、監査報告について ② 令和2年度事業計画(案)、予算(案)について
第1回職員連絡会	11月16日(月)	① 令和2年度職員交流会について ② 令和2年度職員研修会について ③ 情報交換
第1回地権連絡会	12月14日(月)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 地域福祉権利擁護事業実施における課題について ③ 情報交換
第2回職員連絡会	12月22日(火)	① 令和2年度職員研修会について ② 情報交換
第3回職員連絡会	2月17日(水)	① 令和2年度職員研修会について ② 情報交換
職員研修会	3月1日(月)	研修会「職場における心のセルフケア」～心を軽くする方法～ 参加者38人 講師：湯浅 豊氏 会場：調布市総合福祉センター201～203 会議室 ※Zoomを利用したオンライン研修

役員研修会 (小金井社協)	3月2日(火)	テーマ:「コロナ禍における災害ボランティアセンターのあり方」 講師:長谷部 俊介氏
第2回地権連絡会	3月26日(金)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 地域福祉権利擁護事業実施における課題について ③ 情報交換 ※Zoomを利用した会議

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	調布市福祉作業所等連絡会				

結果の概要

○調布市内障害福祉団体の情報交換及び共同作業事業を目的とする連絡会の事業に、「希望の家」「ドルチェ」「ぴっころ」が参加した。また、障がい者支援係と希望の家から事務局員を1名ずつ派遣した。

実績等

代表者会議	定期総会、障害福祉課との懇談、市長との懇談を含め、リモートなどで年5回実施
学習会	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
交換研修	新型コロナウイルス感染拡大のため、アンケートをとり1名のみ実施
映画上映会	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
ほりで〜 ぷらん	調布市障害者余暇活動支援事業として6回行う予定を、新型コロナウイルス感染拡大のため規模を縮小してFC東京チームとの交流を3回のみ実施した
ほっとハート	三市合同手づくり品販売会を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
運動会	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
共同受託事業	公園清掃、ごみリサイクルカレンダー配布、地域活動情報誌じょいなす配布、ふくしの窓配布などを手分けして実施した

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	地域包括支援センター連絡会				

結果の概要

○毎月第3木曜日に開催される連絡会だが、今年は新型コロナウイルス感染防止により書面資料にて福祉健康部各課や包括支援センターと情報を共有した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	権利擁護連絡会				

結果の概要

○7・9・12・2月に開催された連絡会に参加し、高齢者支援室や包括支援センター、福祉総務課との情

報共有や事例等を通して権利擁護についての理解を深めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	調布市障害者地域自立支援協議会				

結果の概要

○調布市自立支援協議会のワーキンググループの一つを担い、障がい者福祉の相談及び支援機関・障がい者団体等を中心にネットワークづくりを進めた。(障害者相談支援事業を参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	調布地域精神保健ネットワーク連絡会				

結果の概要

○調布域精神保健ネットワーク連絡会の事務局を担い、医療と福祉が連携し、問題解決の方向性を検討した。(調布市こころの健康支援センターの調布地域精神保健ネットワーク連絡会事務局を参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会（調布社福連）（重点項目）				

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響で、フードドライブは3回の開催となった。第2回からは株式会社パルコ調布店が参加し、企業との連携も深まった。
- 幹事会は感染防止のため、オンラインで開催した。例年より多い4回開催し、フードドライブの他、新たな地域公益活動（なんでも相談）の立ち上げや法人間の連携について意見交換を重ねた。
- 総会について、第1回は書面での開催となった。第2回はオンラインと来所のハイブリッド形式で開催し、なんでも相談等先駆的な活動をしている東村山市内社会福祉法人連絡会の実践を伺い、調布社福連の今後の取組の参考にした。また、研修会の様子を撮影し、欠席法人に向けてオンラインで録画配信した。

実績等

総会 (40 法人)	第1回 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面で開催した。40 法人中 33 法人より議決権行使書の提出があり、以下の議案が承認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第1号 令和元年度事業報告 ・ 議案第2号 令和元年度収入支出決算書 ・ 議案第3号 令和2年度事業計画 ・ 議案第4号 令和2年度収入支出予算書 第2回 2月26日(金) 12 法人 (15 人) が出席 来所及びオンラインでのハイブリッド形式で開催した。
---------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 テーマ「東村山市内社会福祉法人連絡会の取組について」 講師：武者吉和氏（東村山市内社会福祉法人連絡会・社会福祉法人東村山市社会福祉協議会） ・令和2年度取組結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ①フードドライブ ②幹事会 ・意見交換
<p>幹事会 (7法人)</p>	<p>第1回 7月27日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回フードドライブについて ・調布市社会福祉法人ガイドブックについて ・令和2年度の取組について <p>第2回 10月19日(月) ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる地域公益活動の推進について ・第2回フードドライブについて ・第2回総会について <p>第3回 12月3日(木) ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規取組(なんでも相談)について ・第2回総会について ・第3回フードドライブについて <p>第4回 1月15日(金) ※オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回総会について ・新規取組について <ul style="list-style-type: none"> ①なんでも相談 ②各法人間の応援体制構築 ③「コロナに負けない!調布の福祉!」ポスター
<p>取組</p>	<p>調布市が主催するフードドライブに、調布市消費者団体連合会とともに協力した(第2回より株式会社パルコ調布店も協力)。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が集まったの配付はせず、幹事が各施設や団体をまわってお届けした。</p> <p>第1回 フードドライブの実施 8月25日(火) 12法人が参加 ・947点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体に配付した。</p> <p>第2回 フードドライブの実施 10月27日(火) 13法人が参加 ・1,036点の食品の収集し、福祉施設やボランティア団体に配付した。</p> <p>第3回 フードドライブの実施 2月24日(水) 11法人が参加 ・977点の食品の収集し、福祉施設やボランティア団体に配付した。</p>

6 計画の推進・策定

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	第5次調布市地域福祉活動計画の推進				

結果の概要

- 「第5次調布市地域福祉活動計画」の実現に向けて地域活動、地域福祉の向上を目指した。
- 地域福祉コーディネーターが配置されている、上ノ原・柏野小学校地域と第二・八雲台・国領小学校地域をモデル地域として位置付けた。各部署から職員が参画することにより、様々な立場の専門性を活かしながら、地域のニーズに合わせた推進を図るため話し合いを重ねた。

<上ノ原・柏野小学校地域>

- 「であって知ってつながる」をテーマに、柏野地域で活躍する地域住民にインタビューを行った。インタビューから見えてくる共通ワードを元にさらなる出合いやつながりが生まれることを目的とし、柏野地域で様々な形で活躍する地域住民をお誘いし、地域のことを語り合う会議の開催していく。

<第二・八雲台・国領小学校地域>

- 住民の自地域への関心が薄いのではないかと地域福祉コーディネーターは感じていたが、魅力的な人材が豊富な、第二小学校地域内で、地域住民による地域福祉の推進が進められると想定している。想いや課題を持っている住民で参画できる方を集め、話し合っつながりを持つ中で、多世代がつながるイベントや活動を展開できることを促す準備をした。

7 苦情対応

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	苦情対応				

結果の概要

- 苦情解決実施要綱に基づいた苦情の申出は0件であったが、寄せられた苦情・要望は、サービスを改善する機会ととらえ丁寧な対応と即時性ある改善に取り組んだ。
- いただいた苦情・要望は、第三者委員会議へ報告し意見をいただいた。

実績等

- 苦情・要望の種類別受付件数

	種類（内容）	合計（件）
1	建物、環境整備の不具合や迷惑	0
2	職員の対応への不満	3
3	職員のケアレスミスの指摘	0
4	利用者サービスへの不満	0

5	その他事業内容への不満	0
6	会費や募金についての疑問や不満	1
7	その他	3
合 計		7

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	第三者委員会議				

結果の概要

- 2回の第三者委員会議を開催した。
- 調布市希望の家、希望の家深大寺も別に2回の第三者委員会議を予定していたが、感染症拡大のため年度末に1回の開催となった。
- どちらも、苦情処理要綱に基づく苦情は無かったが、事務局で対応した市民からの苦情、ご意見、事故等に対して助言及び意見をいただいた。

8 個人情報保護

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	個人情報の保護				

結果の概要

- 事業利用に伴う契約時や申請時に個人情報取扱業務説明書を基に、利用者へ説明を行った。
- 個人情報を掲載する文書の使用に当たっては、使用目的を制限する取扱注意事項を明記し、個人情報の保護を徹底した。

9 危機管理体制

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	危機管理委員会、危機管理責任者の設置				

結果の概要

- 危機管理に対する職員の意識を向上し、事故の原因分析と防止のための改善策に取り組んだ。
- 事故・ヒヤリ・ハット報告で、係ごとに事故防止策に取り組んだ。
- 毎月実施される係長職以上の「運営会議」の中で、危機管理委員会を開催し、事故、ヒヤリ・ハット事例の報告を行った。
- 来所者の緊急時に備え、AEDの使用について学ぶ「普通救命講習」を実施した。
- 事故報告は定期的に、第三者委員会議、三役会、理事会及び評議員会に報告した

10 災害対策

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	災害時における事業継続計画（BCP）の推進				

結果の概要

○災害時の安否確認に必要となる職員の緊急連絡網や事業の利用者名簿の更新を行った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	防災訓練の実施と備蓄品等の充実	会			

結果の概要

○総合福祉センターの防災備蓄品の点検を行い、不足品目の補充を行った。

○1月25日（月）、総合福祉センターにおいて地震及び火災発生を想定し、防災訓練を実施した。

○5月、8月、12月の年間3回、職員及び施設管理委託業者と協働し、総合福祉センターの非常用放送設備の動作確認と館内の危険箇所の確認を行った。

実績等

○災害時用品一覧（令和3年3月31日現在） 保管場所：1F ターンテーブル室倉庫

No	品名	数量	No	品名	数量
1	安全キャンドルライト	4台	2	電池ランタンライト	9台
3	ハロゲン強カライト	4台	4	単三アルカリ電池(2本組)	24本
5	電池スぺーサー(2個入)	8個	6	非常用ローソク(3本入)	9箱
7	トーチガスレンジ(8台入)	5箱	8	イワタニカセット用ガス(3本組)	6組
9	アルミ鍋 大	4個	10	アルミお玉 大	3個
11	プラスチック深碗(25枚入)	1袋	12	紙皿(50枚入)	1袋
13	紙深型小碗(50枚入)	2袋	14	紙深型ボウル(50枚入)	6袋
15	プラスチックスプーン(100本入)	3袋	16	箸(100膳入)	3袋
17	救急セット多人数用(約50人分)	1個	18	救急セットB	1個
19	手指用清浄ジェル 1000 mil	2本	20	消毒用エタノール ISP500 mil(5本入)	2袋
21	担架	1台	22	防災用ウエットティッシュ(10枚入)	100個
23	室内用ほうき	3本	24	土のう用ガラ袋	20枚
25	土のう用シャベル(大)	2本	26	土のう用シャベル(小)	16本
27	ちりとり(プラスチック製)	4個	28	外用竹ほうき	10本
29	パイロン(赤色)	7個	30	土のう袋(50枚入)	1袋
31	モップ	1本	32	パイロンパー(黄黒色)	7本
33	サニータⅡ簡易トイレ	5台	34	養生テープ(緑色)	9個
35	サニタクリーン簡易トイレ(20枚入)	5袋	36	サニータⅡ用袋スペア	5箱
37	コクヨ非常用トイレ NT2(100回分)	4箱	38	サニタクリーン簡易トイレセット	1箱
39	寝袋 190×84	6組	40	コクヨ非常用トイレ NT2N(100回分)	6箱

41	非常用保温アルミシート (30枚入)	1箱	42	寝袋 225×75	19組
43	起毛レジャーシート	5枚	44	カロンエコ毛布	30枚
45	防災頭巾	2枚	46	ヘルメット	10個
47	拡声器	1個	48	プラメガホン(黄色)	10個
49	ホイッスル	3個	50	SBKケムリフード	20個
51	マスク(50枚入)	273箱	52	軍手(12組入)	10袋
53	使い切りゴム手袋(200組入)	1箱	54	使い切りビニール手袋(250組入)	1箱
55	安全長靴	11足	56	折りたたみ傘(紺色)	5本
57	防水シート 360×540	40枚			

○災害時用食料品備蓄在庫一覧 (令和3年3月31日現在) 保管場所: 1F ターンテーブル室倉庫

No	品名	数量	No	品名	数量
1	アルファ米 白飯 (50食入)	2箱	2	アルファ米 五目ごはん (50食入)	2箱
3	アルファ米 田舎ごはん (50食入)	1箱	4	アルファ米 赤飯 (50食入)	1箱
5	アルファ米 わかめごはん (50食入)	1箱	6	レトルト コーンピラフ (50食入)	1箱
7	レトルト カレーピラフ (50食入)	1箱	8	レトルト 五目ごはん (50食入)	1箱
9	救命ライス しお (40食入)	1箱	10	救命ライス カレー (40食入)	1箱
11	ポケットワン おみそ汁 (60食入)	1箱	12	ポケットワン わかめスープ (60食入)	1箱
13	野菜シチュー (20食入)	5缶	14	野菜シチュー (10食入)	2缶
15	野菜たっぷりトマトのスープ (30食入)	1箱	16	チキンシチュー (10食入)	2缶
17	けんちん汁 (約20食)	5缶	18	とん汁 (約20食)	2缶
19	おでん缶 (12缶入)	3箱	20	パンですよ!チョコチップ味 (24個入)	1箱
21	パンですよ!レーズン味 (24個入)	1箱	22	パンですよ!コーヒナッツ味 (24個入)	1箱
23	缶フルーツパインミカン (24個入)	1箱	24	缶野菜ジュース (30個入)	1箱
25	非常災害用ドロップス (10個入)	1箱	26	保存用ビスコ (5枚×3袋) ×60ケース入	1箱
27	経口補水液パウダー (10包入)	4箱	28	保存水 500ml (24本入)	48箱

分析・課題

○災害備蓄品について、消費期限が切れたものの買い替えや追加購入を行っているが、備蓄数の見直しや備蓄品目の追加を計画的に行う必要がある。

○災害時における職員の意識向上のため、訓練の実施、円滑な備蓄品の入替えを行っていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	災害等復興支援について				

実績等

○令和元年10月に発生した台風19号による災害について募金箱の設置を行い、集まった義援金や支援金を中央共同募金会へ送金した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	災害ボランティアセンターの準備				

第2部のP52参照